

綾部市営駐車場経営戦略

令和3年3月

綾部市建設部都市計画課

目次

I	綾部市営駐車場経営戦略について	3
1.	目的	3
2.	計画期間	3
3.	運用	3
II	綾部市営駐車場の現状と課題	4
1.	自動車保有台数の推移	4
2.	路外駐車場の設置状況	5
	ア. 時間貸し路外駐車場	5
	イ. 月極駐車場	5
3.	綾部市営駐車場の概要	6
	(1) 事業形態等	6
	(2) 料金体系	7
	(3) 利用台数の推移	8
	ア. 普通駐車	8
	イ. 定期駐車	9
4.	経営分析	10
	(1) 経営指標の設定	10
	(2) 分析	10
	ア. 天神町駐車場	10
	イ. 綾部駅南駐車場	11
	ウ. 綾部駅北駐車場	11
	エ. 駐車場特別会計全体	12
	(3) 施設整備・設備投資の状況	13
5.	課題	14
	ア. 天神町駐車場	14
	イ. 綾部駅南駐車場	14
	ウ. 綾部駅北駐車場	14
	エ. 駐車場特別会計全体	15
III	経営の基本方針	16
1.	駐車場の適正配置	16
2.	安定した経営基盤の確立	16

IV	投資・財政計画	17
1.	歳入	17
2.	歳出	18
(1)	経常経費	18
(2)	設備投資等	18
3.	財政計画	19
V	効率化・経営健全化の取組	21

団体名 綾部市
事業名 綾部市駐車場特別会計
策定日 令和3年3月22日
計画期間 令和3年度～令和12年度

I 綾部市営駐車場経営戦略について

I-1. 目的

本市の駐車場事業は、JR綾部駅を中心に天神町駐車場、綾部駅南駐車場、綾部駅北駐車場の3駐車場を配置し、鉄道利用者や買い物客等の駐車場機能を担うほか、中心市街地の事業所への通勤者、周辺居住者駐車場として機能しています。

中心市街地の都市機能の充実や公共交通における交通結節点としての機能のほか違法駐車対策など都市施設として欠くことのできない重要な機能であり、将来にわたって事業を安定的に継続することを目的に、中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」を策定します。

I-2. 計画期間

本計画の計画期間は、中長期的な見通しを踏まえつつ、10年間（令和3年度から令和12年度まで）とします。

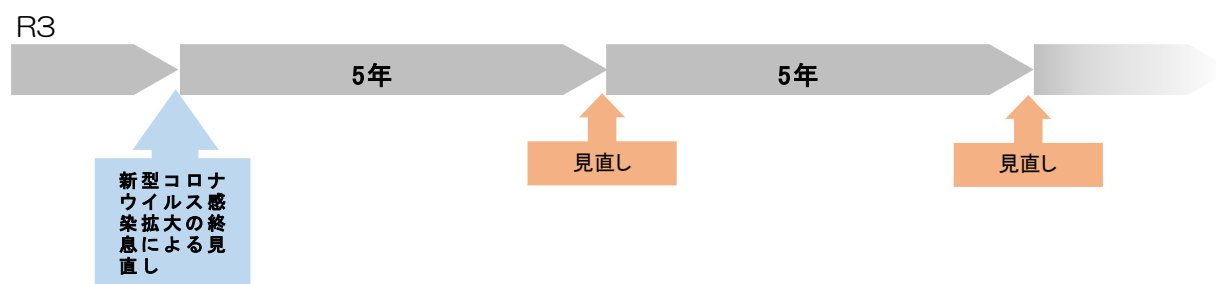
ただし、計画期間中についても、本市を取り巻く社会情勢の変化、経営状況に応じて柔軟に対応し、必要に応じて適切な見直しを行います。

I-3. 運用

当面、本計画に基づき運用を行いますが、新型コロナウイルスの影響が終息したと考えられる時点で、改めて駐車場利用状況、需要などの状況を精査し、本計画の全面的な見直しを行うこととします。

その上で、概ね5年を目途に評価と見直しを実施するものとします。

フォローアップ



Ⅱ 綾部市営駐車場の現状と課題

Ⅱ-1. 自動車保有台数の推移

本市における自動車登録台数は平成30年までの10年間でやや減少傾向となっています。

市営駐車場の駐車対象車両となる乗用車、トラック、軽自動車の登録台数の合計も微減となっています。

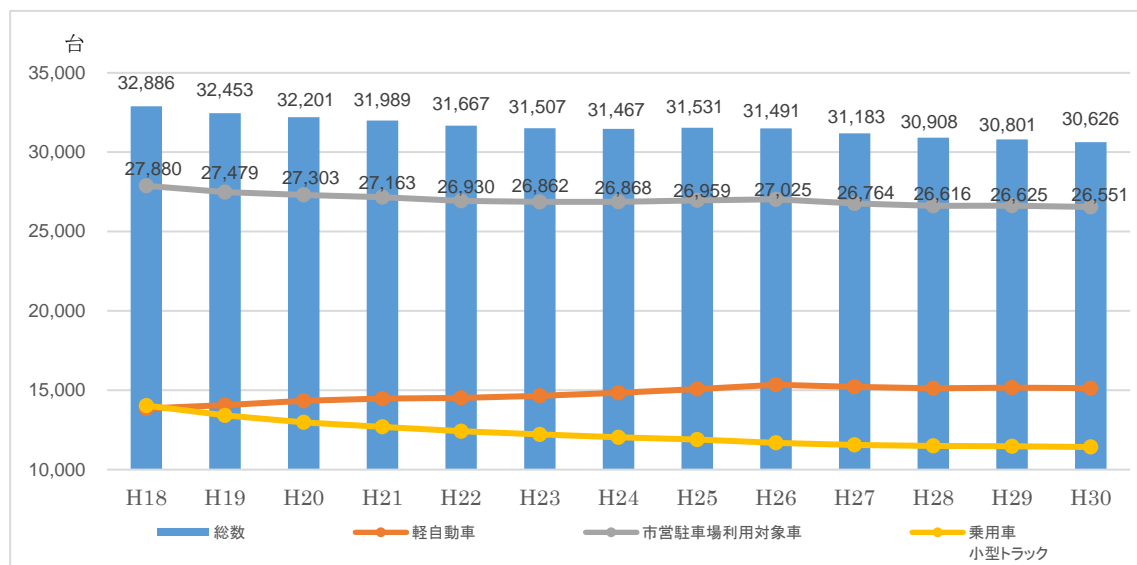
【表1】綾部市における自動車登録台数の推移

(単位:台)

	総数	自動車								原動機付自転車	市営駐車場利用対象車
		乗用車		トラック		バス	特殊自動車	軽自動車	その他		
		普通	小型	普通	小型						
平成18年度	32,886	4,513	7,462	889	1,166	65	464	13,850	4,477	4,350	27,880
平成19年度	32,453	4,419	6,956	902	1,137	66	468	14,065	4,440	4,111	27,479
平成20年度	32,201	4,332	6,772	824	1,046	75	430	14,329	4,393	3,943	27,303
平成21年度	31,989	4,329	6,580	770	1,012	65	405	14,472	4,356	3,800	27,163
平成22年度	31,667	4,300	6,477	724	911	63	396	14,518	4,278	4,072	26,930
平成23年度	31,507	4,300	6,311	705	898	65	404	14,648	4,176	3,420	26,862
平成24年度	31,467	4,322	6,177	665	869	64	392	14,835	4,143	3,256	26,868
平成25年度	31,531	4,363	6,017	664	845	64	402	15,070	4,106	3,064	26,959
平成26年度	31,491	4,350	5,845	664	823	64	406	15,343	3,996	2,928	27,025
平成27年度	31,183	4,404	5,669	672	807	68	410	15,212	3,941	2,821	26,764
平成28年度	30,908	4,471	5,555	674	793	66	400	15,123	3,826	2,686	26,616
平成29年度	30,801	4,548	5,435	698	784	64	414	15,160	3,698	2,544	26,625
平成30年度	30,626	4,648	5,258	721	796	62	405	15,128	3,608	2,385	26,551

資料提供:近畿運輸局、税務課

【グラフ1】綾部市における自動車登録台数の推移



小型乗用車：全長 4.7m、全幅 1.7m、全高 2.0m、排気量 2000cc 以下

普通乗用車：乗車定員 10 名以下、小型乗用車の規格を超えるもの

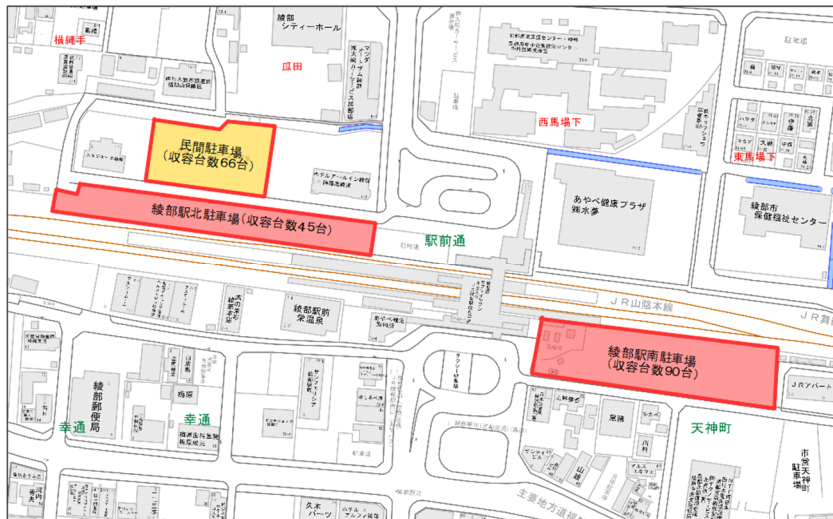
小型トラック：小型自動車の規格に該当するトラック

II-2. 路外駐車場の設置状況

ア. 時間貸し路外駐車場

綾部市内に立地する時間貸しの駐車場は市営駐車場（綾部駅南駐車場、綾部駅北駐車場）の外は、民間駐車場が1施設（66台収容）のみで、いずれも綾部駅周辺に立地しています。

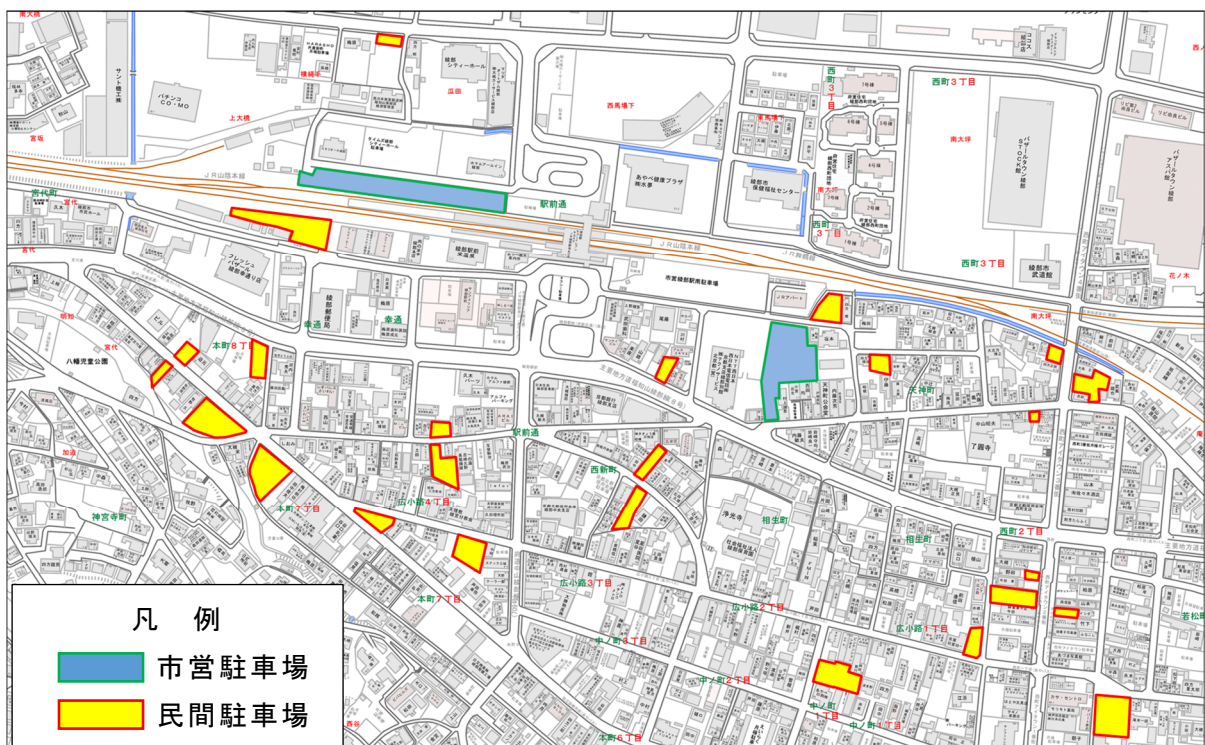
【図1】時間貸し駐車場の状況



イ. 月極駐車場

綾部駅周辺を中心に市街地において、空き地利用などによる月極駐車場が多く存在しています。

【図2】綾部駅周辺の月極駐車場の状況(令和3年2月調査)



Ⅱ－3. 綾部市営駐車場の概要

Ⅱ－3－（1）事業形態等（※令和元年度末現況）

【表2】天神町駐車場（定期駐車）

施設名	綾部市営 天神町駐車場	事業開始年度	昭和48年度
種類	平面自走式	構造	広場式
位置	天神町51番	建設後（建替後）の 経過年数	8年
面積	2,049.36㎡	収容台数	56台
営業時間	24時間	一時間あたりの料金	7.9円 (月額5,800円)
収益的収支比率※ ¹	R1 567.2%	H30 535.6%	H29 552.3%
稼働率※ ²	R1 94.6%	H30 91.1%	H29 96.4%

※1 「収益的収支比率」、※2 「稼働率」：10ページ【表9】を参照

【表3】綾部駅南駐車場（普通駐車）

施設名	綾部市営 綾部駅南駐車場	事業開始年度	平成6年度
種類	平面自走式	構造	広場式
位置	駅前通西馬場下 4番地の3	建設後（建替後）の 経過年数	25年
面積	3,548㎡	収容台数	90台
営業時間	24時間	一時間あたりの料金	75円
収益的収支比率	R1 166.3%	H30 179.3%	H29 334.8%
稼働率	R1 100.1%	H30 109.5%	H29 108.8%

【表4】綾部駅北駐車場（定期駐車・普通駐車）

施設名	綾部市営 綾部駅北駐車場	事業開始年度	平成11年度
種類	平面自走式	構造	広場式
位置	井倉新町瓜田 1番地の9	建設後（建替後）の 経過年数	11年
面積	2,020.36 m ²	収容台数	65台
営業時間	24時間	一時間あたりの料金	普通 69円 定期 7.9円 (月額5,800円)
収益的収支比率	R1 233.4%	H30 229.9%	H29 279.6%
稼働率 ()は定期駐車	R1 89.7% (100.0)	H30 91.0% (95.0)	H29 100.3% (100.0)

II-3-(2) 料金体系

【表5】定期駐車料金

	月額	適用する駐車場
定期駐車	5,800円	天神町駐車場 綾部駅北駐車場

【表6】普通駐車料金

	駐車1回1時間まで	駐車1回1時間を超 えるとき1時間ごと	適用する駐車場
普通駐車	200円	50円	綾部駅南駐車場 綾部駅北駐車場

Ⅱ－３－（３）利用台数の推移

ア) 普通駐車

綾部駅南駐車場（収容台数 90 台（H30.10～））と綾部駅北駐車場（収容台数 45 台（H30.4～））で運用をしており、それぞれの利用状況は【表 7】のとおりです。

パークアンドレール駐車の利用割合は綾部駅南駐車場が約 24 パーセント、綾部駅北駐車場が約 43 パーセントとなっており、綾部駅北駐車場での割合が高くなっています。

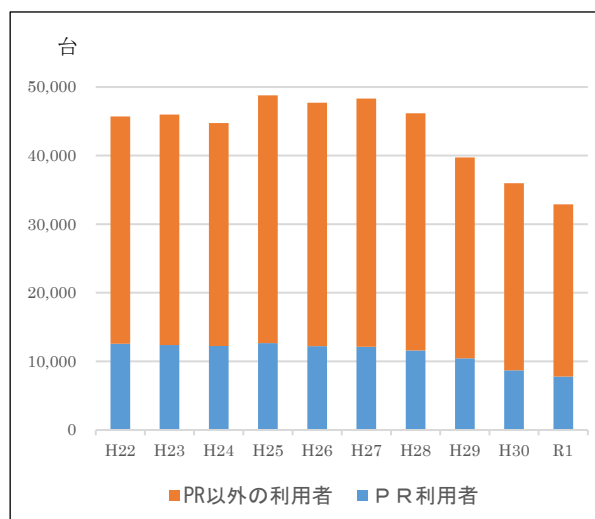
パークアンドレール駐車における 2,000 円割引券の廃止などの制度変更が平成 30 年度以降の利用者減少に影響していると考えられます。

【表 7】普通駐車の利用状況

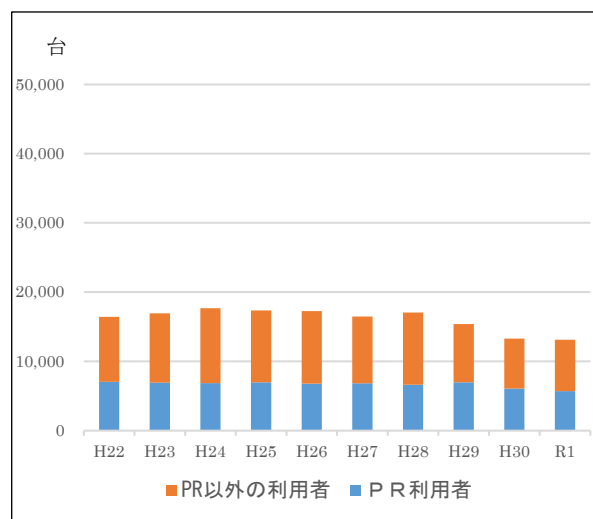
(単位:台)

	駅南駐車場			駅北駐車場		
	総駐車 台数	左のうち パークアンドレール利用者		総駐車 台数	左のうち パークアンドレール利用者	
		台数	割合(%)		台数	割合(%)
平成21年度	46,880	12,747	27.2	16,425	7,130	43.4
平成22年度	45,691	12,577	27.5	16,407	7,035	42.9
平成23年度	45,970	12,371	26.9	16,917	6,919	40.9
平成24年度	44,740	12,253	27.4	17,657	6,853	38.8
平成25年度	48,771	12,662	26.0	17,339	6,969	40.2
平成26年度	47,696	12,216	25.6	17,245	6,783	39.3
平成27年度	48,296	12,124	25.1	16,473	6,820	41.4
平成28年度	46,155	11,590	25.1	17,033	6,604	38.8
平成29年度	39,716	10,456	26.3	15,379	6,970	45.3
平成30年度	35,974	8,690	24.2	13,282	6,063	45.6
令和元年度	32,886	7,789	23.7	13,100	5,686	43.4

【グラフ 2】駅南駐車場利用台数の推移



【グラフ 3】駅北駐車場利用台数の推移



イ) 定期駐車

天神町駐車場（収容台数 56 台）と綾部駅北駐車場（収容台数 20 台（H30.4～））で運用しており、利用状況は【表 8】のとおりです。

両駐車場とも満車に近い状態で推移しており、一定の需要はある状況です。

主に、綾部市街地への通勤者の駐車場、鉄道を利用しての通勤、周辺住民の自家用車の駐車場所として利用されています。

【表 8】定期駐車の利用状況

(単位:台)

	天神町駐車場			綾部駅北駐車場		
	平均契約台数	収容台数	稼働率(%)	平均契約台数	収容台数	稼働率(%)
平成21年度	53	127	41.7	28	30	93.3
平成22年度	49	127	38.6	30	30	100.0
平成23年度	53	54	98.1	29	30	96.7
平成24年度	54	54	100.0	30	30	100.0
平成25年度	53	54	98.1	30	30	100.0
平成26年度	55	56	98.2	30	30	100.0
平成27年度	56	56	100.0	30	30	100.0
平成28年度	55	56	98.2	30	30	100.0
平成29年度	54	56	96.4	23	23	100.0
平成30年度	51	56	91.1	19	20	95.0
令和元年度	53	56	94.6	20	20	100.0

※平成 29 年度から綾部駅北駐車場定期駐車場の駐車枠を 30 区画から 20 区画に変更して運用。(令和 3 年 2 月より 30 区画に変更して運用中)

Ⅱ－4. 経営分析

Ⅱ－4－（1）経営指標の設定

本計画で用いる経営分析の指標は【表9】のとおりとします。

【表9】経営分析に用いる指標一覧

項目	説明	算出式
収益的収支比率	料金収入や一般会計からの繰入金等の総収益で、総費用に地方債償還金を加えた額をどの程度賄えているかを表す指標	総収益÷(総費用+地方債償還金)×100
他会計補助金比率	総費用に対する他会計補助金の割合	繰入金÷(総費用+資本的支出)×100
減価償却資産前営業利益(EBITDA)	当期純利益(又は純損失)、減価償却費、支払利息等の合計額(営業利益に減価償却費等を加算してキャッシュベースの利益に直した指標)であり、収益が安定して成長しているかどうかを経年評価するための指標	収益的収支差引－他会計繰入金+支払利息
売上高GOP比率 (営業総利益比率)	売上高に対する営業総利益の割合	(営業収益－受託工事収益)－(営業費用－受託工事費) ÷(営業収益－受託工事収益)×100
企業債残高対料金収入比率	料金収入に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表す指標	(地方債現在高－一般会計等負担額)÷料金収入×100
稼働率	年間の収容台数に対する駐車台数の割合を1日あたりに直した指標	1日平均駐車台数÷収容台数

Ⅱ－4－（2）分析

ア. 天神町駐車場

【表10】天神町駐車場の経営状況

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
収益的収支比率(%)	664.7	705.3	664.8	698.2	702.2	552.3	535.6	567.2
他会計補助金比率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
EBITDA(千円)	3,019	2,983	3,093	3,143	3,094	2,896	2,729	2,956
売上高GOP比率(%)	87.3	88.0	88.7	89.4	89.5	85.6	85.0	86.5
企業債残高対料金収入比率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
稼働率(%)	100.0	98.1	98.2	100.0	98.2	96.4	91.1	94.6

綾部駅や商業施設に近い場所に位置する天神町駐車場は、市街地への通勤者や鉄道利用者の高い需要がある他、一部近隣住民の自家用車保管場所としての需要があります。このため継続して満車又は満車に近い状態で安定した収入がある状況です。

一方、営業費用は特別な管理施設を持たない自走式平面駐車場（広場式）であるため低く抑えられていることから、収益的収支比率は非常に良好な状態を維持しており、経営状態は安定し推移しています。

イ. 綾部駅南駐車場

【表 11】綾部駅南駐車場の経営状況

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
収益的収支比率(%)	188.3	412.2	269.0	361.2	324.5	334.8	179.3	166.3
他会計補助金比率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
EBITDA(千円)	5,893	10,260	8,602	9,814	8,743	8,323	4,263	3,452
売上高GOP比率(%)	49.1	77.9	66.4	75.9	72.9	73.8	47.9	44.0
企業債残高対 料金収入比率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
稼働率(%)	122.6	133.6	130.7	132.3	126.5	108.8	109.5	100.1

綾部駅の南東に隣接する綾部駅南駐車場は、交通結節点の駐車場として重要な役割を担っています。

さらに、綾部駅の南側唯一の時間貸し駐車場であり、市街地中心部の主要駐車場として100パーセントを超える稼働率を継続しています。

営業費用の主なものは、24時間の無人営業を行うための駐車管理システム機器のリース料、保守費用及び機械消耗品等の費用で毎年一定の支出が必要になっていますが、十分な収入があったため、収益的収支比率は非常に高い状態で推移してきました。

しかし、平成29年度の1月からパークアンドレール2,000円割引券を廃止など制度の変更を行ったため、稼働率がやや下がってきており、収入が減少傾向にあるためこれに比例して収益的収支比率も機器のリースの切り替え時期等によりバラつきはありますが、やや減少傾向にあります。

ウ. 綾部駅北駐車場

【表 12】綾部駅北駐車場の経営状況

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
収益的収支比率(%)	166.0	168.9	163.2	160.8	168.5	279.6	229.9	233.4
他会計補助金比率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
EBITDA(千円)	3,044	3,074	3,007	2,836	3,086	4,355	3,044	3,046
売上高GOP比率(%)	42.2	43.0	42.4	41.5	44.3	67.9	60.2	61.0
企業債残高対 料金収入比率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
普通駐車稼働率(%)	138.2	135.7	135	128.9	133.3	100.3	91.0	89.7
定期駐車稼働率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	95.0	100.0

綾部駅の北西に隣接しており、収容台数65台のうち45台（令和3年2月から35台）を普通駐車場で運用し、20台（令和3年2月から30台）を定期駐車として運用しています。

いずれも、駅に隣接する立地から、交通結節点の駐車場として鉄道利用者の割合が高くなっていると考えられます。鉄道利用者以外の利用としては、特に定期駐車などで近隣住民の自家用車保管場所としての利用があります。

令和元年度までの状況では、普通駐車においては満車となる場合もあり、また、定期駐車においても、高い需要があり継続して満車又は満車に近い状態を保っていることから一定の収入がある状況となっています。

営業費用としては、綾部駅南駐車場と同じく、駐車管理システムに関する経費が高い割合を占めており一定の支出が必要な状況です。

綾部駅南駐車場に比べると収容台数が少ないため、料金収入も綾部駅南駐車場よりは少なくなっており、その結果、駐車場単位での収益的収支比率は他の駐車場に比べると低い状態となっていますが、100パーセントは上回る状況で、経営状態は安定して推移しています。

平成29年度から収益的収支比率が高くなっていますが、これは機器リースの期間満了により、再リースとなったことによって経費が下がったことによるものです。

パークアンドレール駐車場の制度変更の影響を受けて収益的収支比率は減少の傾向です。

エ. 駐車場特別会計全体

【表 13】駐車場特別会計全体の経営状況

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
収益的収支比率(%)	201.2	298.0	241.4	276.5	267.4	335.6	220.2	216.4
他会計補助金比率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
EBITDA(千円)	11,956	16,317	14,703	15,794	14,923	15,574	10,036	9,455
売上高GOP比率(%)	52.6	68.6	62.2	67.4	66.3	73.9	58.3	57.8
企業債残高対 料金収入比率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

令和元年度までの状況は、収益的収支比率が200パーセントを超える高い状態を維持できており、他会計からの補助金や企業債残高も無いため、良好な経営状態となっています。

しかし、令和2年度において新型コロナウイルスの影響を受け、使用料収入が大幅に減少する見込みであることから、収益的収支比率は大きく減少する見込みです。

Ⅱ－４－（３）施設整備・設備投資の状況

天神町駐車場は昭和５１年の整備後、平成２３年度に全面改築を行っています。

綾部駅南駐車場は平成６年に整備以降、用地の拡大や、利用形態の変更などに伴い、一定の施設整備を行ってきています。

綾部駅北駐車場は平成２０年度に今の位置に移設整備したもので、現在までのところ、老朽化もあまり見られず利用形態の変更もないため、特段の整備は行っていません。

なお、綾部駅南駐車場については綾部市土地開発基金による用地先行取得分の買戻しが完了しておらず、計画的な買戻しを行っています。

【表 14】設備投資の状況

(単位:千円)

	天神町	綾部駅南	綾部駅北	合計	適用
平成20年度まで	184,841	95,877	47,999	328,717	用地費・補償費・駐車場設置(整備)工事等
平成21年度			24,230	24,230	綾部駅北駐車場用地買戻し
平成22年度		1,869		1,869	綾部駅南駐輪場拡張
平成23年度	31,801			31,801	天神町立体駐車場解体・地上式駐車場整備
平成24年度		4,240		4,240	綾部駅南駐車場整備(舗装・白線)工事
平成25年度				0	
平成26年度				0	
平成27年度		60,000		60,000	綾部駅南駐車場用地買戻し
平成28年度		10,000		10,000	綾部駅南駐車場用地買戻し
平成29年度		10,000		10,000	綾部駅南駐車場用地買戻し
平成30年度		16,307		16,307	綾部駅南駐車場用地買戻し 綾部駅南駐輪場移設工事
令和元年度		9,000		9,000	綾部駅南駐車場用地買戻し

II-5. 課題

ア) 天神町駐車場

現在までのところ需要は高く、今後も安定した良好な経営状況で推移することが考えられ、現状では運営等に特段の課題はありません。

一方で本駐車場は綾部駅や商業施設等にも近い市街地の中心に位置しており、土地利用の可能性も高いため、駐車場の需要、市営駐車場全体の運用見直しを行う中で、最適な土地利用についても幅広く検討する必要があります。

■市営駐車場としての必要性

イ) 綾部駅南駐車場

これまで比較的安定して運営してきましたが、令和2年度においては新型コロナウイルスの感染拡大の影響で利用率収入が大幅に減少する見込みです。

本駐車場は主に交通結節点の駐車場としての機能を持っていることから、非常に大きな影響を受けています。

新型コロナウイルス終息の見通しが不透明で、また生活様式や勤務形態の変化により利用状況がどの程度まで回復するかについての見込みが非常に難しくなっています。

このため、今後の利用状況によっては、運用方法の見直しなどについても検討する必要があります。

新型コロナウイルスの影響終息後の駐車場需要を踏まえ、今後も安定した経営を継続するためには、市営駐車場全体の運用見直しを行う中で、綾部駅に最も近い交通結節点の駐車場として、よりスムーズな交通手段の接続や安全な駐車場利用のための設備投資などにより利便性の向上を図り、収入の確保につなげることが必要です。

■利用率向上のための定期駐車導入

■新型コロナウイルスの影響終息後の駐車場需要を見据えた運用

■スムーズな交通手段の接続環境の向上

■利便性向上のためのキャッシュレス決済などへの対応

■安全な駐車場利用のための施設整備

ウ) 綾部駅北駐車場

これまで比較的安定して運営してきましたが、令和2年度においては新型コロナウイルスの感染拡大の影響で利用率収入が大幅に減少する見込みです。

本駐車場は主に交通結節点の駐車場としての機能を持っていることから、非常に大きな影響を受けています。

綾部駅南駐車場同様、今後、安定した運営を継続するために、よりスムーズに交通

手段の接続ができる運用などを検討し、利便性の向上による収入確保を目指す必要があります。

- 状況に応じた運用形態の変更（定期駐車、普通駐車の数変更）
- 新型コロナウイルスの影響終息後の駐車場需要を見据えた運用方法
- スムーズな交通手段の接続環境の向上
- 利便性向上のためのキャッシュレス決済などへの対応

エ) 駐車場特別会計全体

新型コロナウイルスの影響による、使用料の減収は駐車場特別会計全体の財政構造にも、大きな影響を及ぼしています。

これまでの、収益的収支比率が200パーセントを超える状況は、経常経費の倍以上の収入がある状態であり、この収益をもって、計画的な用地の買戻しを可能にできましたが、令和2年度においては使用料収入が対前年度比50パーセント近くまで減少する見込みであることから、これまでどおりの運用は困難になりつつあります。

このような状況の中、新型コロナウイルスの影響が終息するまでの当面の課題と、終息後、健全な経営を持続していくための長期的な課題を把握する必要があります。

【当面の課題】

- 運用形態の柔軟な対応による使用料収入の確保
- 機器更新時期の見直しによる、経費の抑制
- 収入の状況を見据えた、用地買戻し計画の柔軟な運用

【新型コロナウイルス終息後の課題】

- アフターコロナの状況での駐車場需要の把握
- 需要予測に基づく適切な運用計画の策定
- 駐車場の利便性向上の検討
- 民間活力導入の検討

Ⅲ 経営の基本方針

現在直面している新型コロナウイルスの影響が、どの程度、またいつまで継続するかが不透明であり、使用料収入の見込みが非常に困難であることから、当面は想定する最低限度の使用料収入を見込み、その収入規模内での運営を継続していくことを基本とします。

なお、今後、新型コロナウイルスの影響が終息した段階で、コロナ終息後の駐車場需要を見据えた本計画の全面的な見直しを行い、新たな基本方針を策定します。

Ⅲ-1. 駐車場の適正配置

現在、新型コロナウイルスの影響で、利用状況が激減する特殊な状況下であり、今後の見通しも困難であることから、当面は利用状況の推移を見ながら、現行の3駐車場で運用するものとします。

なお、新型コロナウイルス終息後、駐車場需要の回復状況などを見極めた上で再度適正な配置について検討するものとします。

Ⅲ-2. 安定した経営基盤の確立

現在の新型コロナウイルスの影響下においては、今後の見通しも困難であることから、当面は現行の運営形態を維持します。

ただし、利用状況や駐車場需要を注視する中で、普通駐車と定期駐車の数変更などについて柔軟に検討し、安定した収入の確保に努めるものとします。

なお、新型コロナウイルス終息後において、利用状況や駐車場需要を踏まえた経営のシミュレーションを行い、今後の経営について改めて検討するものとします。

IV 投資・財政計画

IV-1 歳入

新型コロナウイルスの影響により、使用料収入が大幅に減少している状況と、現時点で、今後の回復状況の予測が困難であることを踏まえ、令和2年度の状況をベースに最低ラインとして推計します。

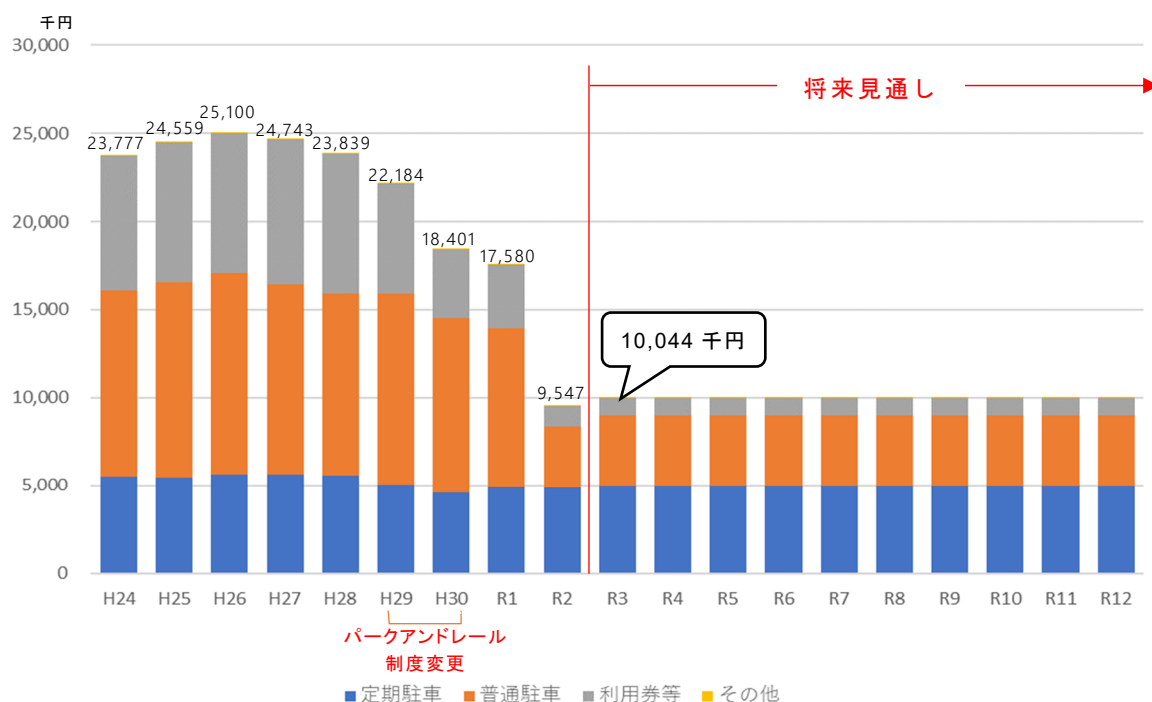
【表 15】今後の収入見込

(単位:千円)

	普通駐車	定期駐車	利用券等	その他	計
平成24年度	10,554	5,516	7,658	49	23,777
平成25年度	11,093	5,445	7,988	33	24,559
平成26年度	11,464	5,621	7,964	51	25,100
平成27年度	10,763	5,643	8,274	63	24,743
平成28年度	10,369	5,555	7,911	4	23,839
平成29年度	10,869	5,033	6,280	2	22,184
平成30年度	9,924	4,582	3,875	20	18,401
令和元年度	8,984	4,933	3,625	38	17,580
令和2年度	3,485	4,883	1,142	37	9,547
令和3年度	3,900	5,000	1,100	44	10,044
令和4年度	3,900	5,000	1,100	44	10,044
令和5年度	3,900	5,000	1,100	44	10,044
令和6年度	3,900	5,000	1,100	44	10,044
令和7年度	3,900	5,000	1,100	44	10,044
令和8年度	3,900	5,000	1,100	44	10,044
令和9年度	3,900	5,000	1,100	44	10,044
令和10年度	3,900	5,000	1,100	44	10,044
令和11年度	3,900	5,000	1,100	44	10,044
令和12年度	3,900	5,000	1,100	44	10,044

※その他: 駐車場整備基金利子、行政財産使用料、自販機設置による光熱費負担金

【グラフ4】料金収入の将来見通し



IV-2 歳出

IV-2-(1) 経常経費

市営駐車場の経費については、特殊事情がある場合を除きほぼ固定しています。

歳入について令和2年度の決算見込みからの推計とするため、経常経費についても令和2年度の歳出を基本に推計します。

なお、リースにより設置している自動料金システム及び監視カメラシステムについては、歳入の状況を鑑み概ね10年を更新の基準として、更新頻度をできるだけ減らすことによる経費の抑制に努めます。

【表 16】経常経費の見込み

(単位:千円)

		令和元年度 決算	令和2年度 決算見込	R3~R12 各年度見込額		
経常経費	職員給与費	1,216	1,403	1,511	会計年度任用職員1名 報酬、手当、共済費、旅費	
	需用費	消耗品	672	167	600	
		光熱水費	377	359	360	
		修繕費	60	0	50	
	役務費	81	80	80		
	委託料	2,368	2,458	2,459		
	賃借料	2,607	3,074	3,149	機器リース料(機器更新により額は変動)	
	負担金	24	24	24		
	公課費	721	434	455	売上に係る消費税	
小計	8,126	7,999	8,688			
投資的経費	工事請負費	0	0	0		
	公有財産購入	9,000	1,000	1,000		
	小計	9,000	1,000	1,000		
総経費	17,126	8,999	9,688			
基金積立金(運営余剰金)	454	548	356	総収入—経常経費—投資的経費		

【表 17】リース機器更新計画

機器名	前回更新	次回更新予定
駅南駐車場自動料金システム	平成30年7月	令和12年
駅北駐車場自動料金システム	平成23年7月	令和6年
監視カメラシステム	令和2年5月	令和12年

IV-2-(2) 設備投資等

令和2年度の会計規模が、歳入の減少により例年の約50%程度となる見込みであることを踏まえ、必要最小限度の設備投資計画とします。

【表 18】令和3年度以降の設備投資計画

綾部駅南駐車場用地買戻し	令和3年度～令和12年度	各年度 1,000千円
--------------	--------------	-------------

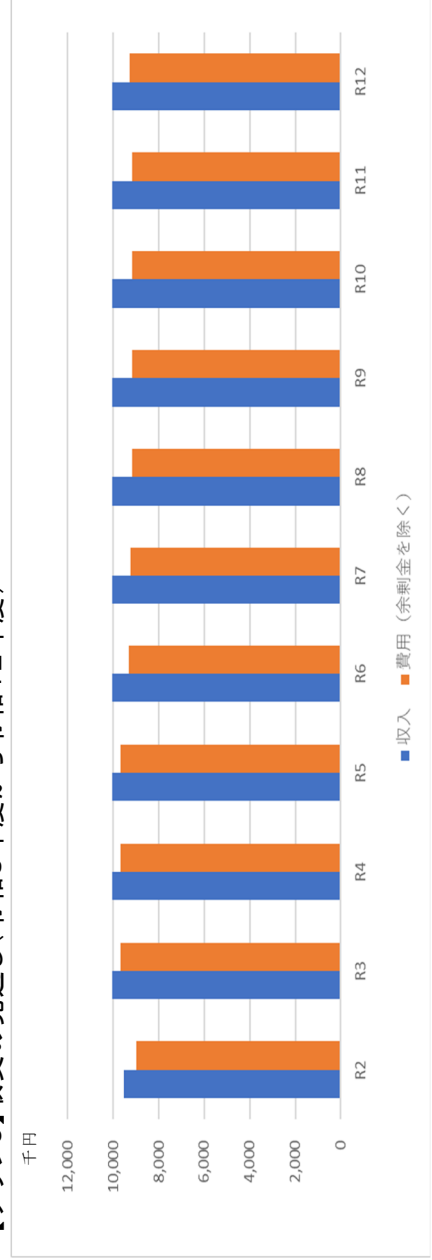
IV-3 財政計画

IV-1 及びIV-2 の考え方に基づき、令和3年度から令和12年度までの財政計画を【表19】のとおりとします。

【表 19】令和3年度から令和12年度までの財政計画

		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	備考
歳入	駐車場使用料	9,503	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	
	その他	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	
	合計	9,547	10,044	10,044	10,044	10,044	10,044	10,044	10,044	10,044	10,044	10,044	
歳出	経常経費	1,403	1,511	1,511	1,511	1,511	1,511	1,511	1,511	1,511	1,511	1,511	
	人件費												
	需用費	526	1,010	1,010	1,010	1,010	1,010	1,010	1,010	1,010	1,010	1,010	消耗品、光熱水費、修繕料
	委託料	2,458	2,459	2,459	2,459	2,459	2,459	2,459	2,459	2,459	2,459	2,459	
	賃借料	3,074	3,149	3,149	3,149	2,775	2,714	2,622	2,622	2,622	2,622	2,738	
	公課費	434	455	455	455	455	455	455	455	455	455	455	
	その他	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104
計	7,999	8,688	8,688	8,688	8,314	8,253	8,161	8,161	8,161	8,161	8,277	8,277	
投資的経費	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	用地買戻し
費用合計	8,999	9,688	9,688	9,688	9,314	9,253	9,161	9,161	9,161	9,161	9,161	9,277	
余剰金(基金への積立金)	548	356	356	356	356	730	791	883	883	883	883	767	
付 記													
					駅南料金システムリリース終了	駅北料金システム入替	カメラリース終了					駅南料金システム・カメラ入替	
駐車場整備基金年度末残高	17,294	17,650	18,006	18,362	19,092	19,883	19,883	20,766	21,649	22,532	23,415	24,182	※利子は見込みず
用地買戻し 年度末残高	53,711	52,711	51,711	50,711	49,711	48,711	48,711	47,711	46,711	45,711	44,711	43,711	総額:153,711千円

【グラフ5】収支の見通し(令和3年度から令和12年度)



V 効率化・経営健全化の取組

新型コロナウイルスの影響下にあつて、現状では将来の見通しが立たないことから、当面は令和2年度の実績ベースでの経営の維持を目指します。

なお、利用状況を注視する中で、その変化に合わせ柔軟な対応を行います。

その上で、新型コロナウイルス終息後において、利用状況や駐車場需要等の変化を考慮し駐車場運営全体の見直しを行い、より効率的で健全な経営を目指します。